



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月14日

上場会社名 株式会社ホクリヨウ

上場取引所 東

コード番号 1384 URL <https://www.hokuryo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 米山 大介

問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画部長 (氏名) 松岡 昌哉

TEL 011-812-1131

定時株主総会開催予定日 2020年6月24日

配当支払開始予定日

2020年6月25日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	13,416	5.1	139	9.0	198	10.5	223	162.4
2019年3月期	12,763		153		221		85	

(注) 包括利益 2020年3月期 222百万円 (374.8%) 2019年3月期 46百万円 (%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	26.37		2.5	1.3	1.0
2019年3月期	10.05		1.0	1.5	1.2

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(注) 当社は前々連結会計年度(2018年3月期)より決算日を8月31日から3月31日に変更しております。これに伴い、2019年3月期の対前期増減率については記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	14,676	8,928	60.8	1,055.52
2019年3月期	14,872	8,791	59.1	1,039.25

(参考) 自己資本 2020年3月期 8,928百万円 2019年3月期 8,791百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,903	1,056	573	2,197
2019年3月期	545	2,882	1,126	1,924

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		10.00	10.00	84	99.5	1.0
2020年3月期		0.00		10.00	10.00	84	37.9	1.0
2021年3月期(予想)		0.00		10.00	10.00		35.0	

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,168	5.6	316	125.9	373	88.1	241	8.2	28.53

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	8,459,000 株	2019年3月期	8,459,000 株
期末自己株式数	2020年3月期	48 株	2019年3月期	株
期中平均株式数	2020年3月期	8,458,980 株	2019年3月期	8,459,000 株

(参考)個別業績の概要

2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	13,418	5.1	41		19	96.8	79	84.7
2019年3月期	12,764		546		614		516	

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	9.35	
2019年3月期	61.01	

(注)当社は前々事業年度(2018年3月期)より決算日を8月31日から3月31日に変更しております。これに伴い、2019年3月期の対前期増減率については記載していません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	11,801	8,858	75.1	1,047.21
2019年3月期	12,259	8,864	72.3	1,047.96

(参考) 自己資本 2020年3月期 8,858百万円 2019年3月期 8,864百万円

個別業績の前期実績値との差異理由

添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況(1) 当期の経営成績の概況」に記載した事項と同様の理由により、前事業年度の実績値と当事業年度の実績値との間に差異が生じております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における日本経済は、昨年末までは企業収益の拡大、雇用所得環境の改善が続き、比較的堅調な株価に示されたように国内景気は回復基調にありました。しかしながら今年1月日本で最初の感染者が発見された新型コロナウイルス感染症は世界に拡散、パンデミック（世界的大流行）となり、世界経済は一転してリーマンショックをも上回る景気の後退局面へと突入しております。

鶏卵業界におきましては、前連結会計年度から続く鶏卵生産量増大により当連結会計年度上半期においては鶏卵相場が前連結会計年度をさらに下回る水準で推移しましたが、下半期になり生産量減少からようやく相場は反転、結果当連結会計年度平均鶏卵相場は、北海道Mサイズが1キロ178円31銭と前年比4円80銭高、東京Mサイズは1キロ181円76銭と前年比10円33銭高となりました。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高は13,416,235千円（前年同期比5.1%増）、営業利益は139,967千円（同9.0%減）経常利益は198,614千円（同10.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は223,088千円（同162.4%増）となりました。

なお、当社グループは鶏卵事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて196,410千円減少し14,676,110千円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて167,754千円減少し3,691,687千円となりました。これは、主として現金及び預金が273,167千円増加したものの、受取手形及び売掛金が217,837千円、流動資産のその他が256,780千円減少したこと等によるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて28,656千円減少し10,984,422千円となりました。これは、主として有形固定資産の取得により建物及び構築物が91,870千円増加したものの、機械装置及び運搬具が減価償却により147,408千円減少したこと等によるものです。

なお、当連結会計年度において実施いたしました設備投資の総額は1,892,491千円であります。これらの資金は自己資金及び借入金でまかなっております。

## (負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて334,005千円減少し5,747,497千円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて399,506千円増加し3,082,858千円となりました。これは、主として短期借入金が300,000千円、流動負債のその他が115,821千円増加したこと等によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて733,512千円減少し2,664,639千円となりました。これは主として長期借入金が721,320千円減少したこと等によるものです。

## （純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて137,595千円増加し8,928,612千円となりました。

これは、主として剰余金の配当が84,590千円あったものの、親会社株主に帰属する当期純利益223,088千円を計上したこと等によるものです。

## （3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末に比べて273,167千円増加し、2,197,945千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ1,358,447千円多い1,903,654千円の収入となりました。これは主として税金等調整前当期純利益289,767千円の計上、減価償却費1,085,870千円、売上債権の減少217,837千円等による資金の増加によるものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ1,826,275千円少ない1,056,562千円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出998,981千円等によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは、573,925千円の支出（前年同期は1,126,880千円の収入）となりました。これは主に短期借入れによる収入300,000千円等による資金の増加が、長期借入金の返済による支出764,436千円、配当金の支払額84,590千円等による資金の減少を下回ったことによるものであります。

## （4）今後の見通し

鶏卵相場については2019年後半の餌付け羽数が少なかったことから、2020年度は前年比若干上昇を予想しております。飼料価格についてはほぼ前年度並みを想定しております。鶏卵販売重量につきましては、株式会社第一ポーターファーム吉木木農場の生産が増加することから、前年同期間比若干の増加を想定しております。

以上の結果、第73期連結売上高は14,168,520千円、営業利益は316,145千円、経常利益は373,507千円、親会社株主に帰属する当期純利益は241,350千円を予想しております。

なお、次期の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績はコロナ感染症の影響等、今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

## （5）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、業績と企業体質の強化を総合的に勘案し、安定した配当を実施することを基本方針としております。また、当社の剰余金の配当は、年1回の期末配当を基本方針としております。

内部留保資金については、企業体質の強化、生産設備・製造設備の強化、将来の事業活動強化を中心とした有効投資に備える予定であります。

上記方針に基づき、当連結会計年度の剰余金の期末配当につきましては、1株当たり10円を株主総会に提案させていただく予定であります。

また、次期配当につきましては、1株当たり年間配当は当期同様10円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,924,778	2,197,945
受取手形及び売掛金	1,440,580	1,222,743
商品及び製品	67,839	75,508
仕掛品	9,415	15,054
原材料及び貯蔵品	118,935	138,618
その他	300,066	43,286
貸倒引当金	△2,173	△1,468
流動資産合計	3,859,442	3,691,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,387,908	12,913,185
減価償却累計額	△5,281,629	△5,715,037
建物及び構築物(純額)	7,106,278	7,198,148
機械装置及び運搬具	7,137,254	7,489,464
減価償却累計額	△5,488,878	△5,988,498
機械装置及び運搬具(純額)	1,648,375	1,500,966
土地	1,234,150	1,234,150
リース資産	115,117	115,117
減価償却累計額	△63,314	△86,338
リース資産(純額)	51,803	28,779
建設仮勘定	196,769	250,738
その他	166,201	172,250
減価償却累計額	△141,154	△151,334
その他(純額)	25,047	20,916
有形固定資産合計	10,262,424	10,233,700
無形固定資産		
その他	36,630	40,220
無形固定資産合計	36,630	40,220
投資その他の資産		
投資有価証券	460,574	432,698
その他	253,928	278,038
貸倒引当金	△479	△234
投資その他の資産合計	714,024	710,502
固定資産合計	11,013,078	10,984,422
資産合計	14,872,521	14,676,110

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	980,312	965,041
電子記録債務	259,392	227,466
短期借入金	—	300,000
1年内返済予定の長期借入金	764,436	721,320
未払金	333,017	346,890
未払法人税等	56,997	105,622
賞与引当金	97,000	108,500
その他	192,194	308,016
流動負債合計	2,683,351	3,082,858
固定負債		
長期借入金	3,072,463	2,351,143
繰延税金負債	13,260	13,260
退職給付に係る負債	120,686	124,588
役員退職慰労引当金	76,150	84,350
資産除去債務	74,511	75,081
その他	41,080	16,216
固定負債合計	3,398,152	2,664,639
負債合計	6,081,503	5,747,497
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,055,000	1,055,000
資本剰余金	754,215	754,215
利益剰余金	6,882,418	7,020,917
自己株式	—	△34
株主資本合計	8,691,633	8,830,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	99,383	98,515
その他の包括利益累計額合計	99,383	98,515
純資産合計	8,791,017	8,928,612
負債純資産合計	14,872,521	14,676,110



(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	12,763,990	13,416,235
売上原価	11,085,667	11,475,843
売上総利益	1,678,323	1,940,392
販売費及び一般管理費		
役員報酬	120,210	131,330
給料・雑給及び手当	223,900	227,340
賞与	23,916	23,912
法定福利費	50,033	56,043
賞与引当金繰入額	25,207	27,468
役員退職慰労金	3,190	—
退職給付費用	7,189	5,353
役員退職慰労引当金繰入額	5,030	8,200
運賃諸掛	783,207	870,147
広告宣伝費	58,391	28,160
支払手数料	78,482	78,176
貸倒引当金繰入額	△1,076	—
減価償却費	52,196	56,859
のれん償却額	14,950	—
卵価安定基金支払	152,449	347,616
卵価安定基金収入	△269,823	△248,877
その他	197,025	188,694
販売費及び一般管理費合計	1,524,481	1,800,424
営業利益	153,841	139,967
営業外収益		
受取利息	28	17
受取配当金	8,724	9,063
仕入割引	19,017	17,702
受取賃貸料	39,239	30,192
受取保険金	2,231	2,513
物品売却益	8,343	4,317
その他	14,472	12,728
営業外収益合計	92,057	76,533
営業外費用		
支払利息	8,480	8,152
賃貸費用	15,014	8,866
その他	582	868
営業外費用合計	24,078	17,886
経常利益	221,820	198,614

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	—	48
投資有価証券売却益	—	102
受取保険金	56,410	—
事業譲渡益	87,193	—
助成金収入	10,352	195,269
特別利益合計	153,955	195,420
特別損失		
固定資産除却損	21,214	34,171
投資有価証券売却損	—	5,577
投資有価証券評価損	—	19,412
災害による損失	44,528	—
減損損失	—	45,105
特別損失合計	65,742	104,266
税金等調整前当期純利益	310,033	289,767
法人税、住民税及び事業税	158,276	93,894
法人税等調整額	66,747	△27,215
法人税等合計	225,023	66,679
当期純利益	85,009	223,088
親会社株主に帰属する当期純利益	85,009	223,088

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	85,009	223,088
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38,209	△868
その他の包括利益合計	△38,209	△868
包括利益	46,800	222,219
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	46,800	222,219

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
当期首残高	1,055,000	754,215	6,924,294	—
当期変動額				
剰余金の配当			△126,885	
親会社株主に帰属する当期純利益			85,009	
自己株式の取得				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	△41,875	—
当期末残高	1,055,000	754,215	6,882,418	—

	株主資本	その他の包括利益累計額		純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	8,733,509	137,593	137,593	8,871,102
当期変動額				
剰余金の配当	△126,885			△126,885
親会社株主に帰属する当期純利益	85,009			85,009
自己株式の取得	—			—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		△38,209	△38,209	△38,209
当期変動額合計	△41,875	△38,209	△38,209	△80,084
当期末残高	8,691,633	99,383	99,383	8,791,017

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
当期首残高	1,055,000	754,215	6,882,418	—
当期変動額				
剰余金の配当			△84,590	
親会社株主に帰属する当期純利益			223,088	
自己株式の取得				△34
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	—	—	138,498	△34
当期末残高	1,055,000	754,215	7,020,917	△34

	株主資本	その他の包括利益累計額		純資産合計
	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	8,691,633	99,383	99,383	8,791,017
当期変動額				
剰余金の配当	△84,590			△84,590
親会社株主に帰属する当期純利益	223,088			223,088
自己株式の取得	△34			△34
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		△868	△868	△868
当期変動額合計	138,463	△868	△868	137,595
当期末残高	8,830,097	98,515	98,515	8,928,612

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	310,033	289,767
減価償却費	950,841	1,085,870
減損損失	—	45,105
のれん償却額	14,950	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,787	3,901
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6,180	8,200
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,509	11,500
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△32,000	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,470	△950
受取利息及び受取配当金	△8,752	△9,080
投資有価証券売却損益(△は益)	—	5,475
投資有価証券評価損益(△は益)	—	19,412
支払利息	8,480	8,152
固定資産売却損益(△は益)	—	△48
固定資産除却損	21,214	34,171
事業譲渡損益(△は益)	△87,193	—
受取保険金	△56,410	—
助成金収入	—	△195,269
災害損失	44,528	—
売上債権の増減額(△は増加)	242,377	217,837
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,472	△32,989
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,938	△47,197
その他	△427,734	315,512
小計	963,570	1,759,371
利息及び配当金の受取額	8,752	9,080
利息の支払額	△8,523	△8,542
法人税等の支払額	△439,877	△51,523
助成金の受取額	—	195,269
保険金の受取額	56,410	—
災害損失の支払額	△35,125	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	545,207	1,903,654
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,817,266	△998,981
有形固定資産の売却による収入	—	56
無形固定資産の取得による支出	△7,449	△15,720
投資有価証券の取得による支出	△4,814	△14,218
投資有価証券の売却による収入	—	15,962
差入保証金の差入による支出	△21,416	△1,520
その他	△31,889	△42,139
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,882,837	△1,056,562
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△130,000	300,000
長期借入れによる収入	1,900,000	—
長期借入金の返済による支出	△491,370	△764,436
リース債務の返済による支出	△24,864	△24,864
自己株式の取得による支出	—	△34
配当金の支払額	△126,885	△84,590
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,126,880	△573,925
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,210,749	273,167
現金及び現金同等物の期首残高	3,135,528	1,924,778
現金及び現金同等物の期末残高	1,924,778	2,197,945

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

当社グループは、「鶏卵事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

当社グループは、「鶏卵事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,039.25円	1,055.52円
1株当たり当期純利益	10.05円	26.37円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	85,009	223,088
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 利益(千円)	85,009	223,088
普通株式の期中平均株式数(株)	8,459,000	8,458,980

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	8,791,017	8,928,612
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	8,791,017	8,928,612
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末 の普通株式の数(株)	8,459,000	8,458,952

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。